

## 鳥海山の火山活動解説資料（令和8年9月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

- ・ 噴気など表面現象の状況（図1、図2）  
上郷2監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。
- ・ 地震や微動の発生状況（図3）  
地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されませんでした。
- ・ 地殻変動の状況（図4、図6）  
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

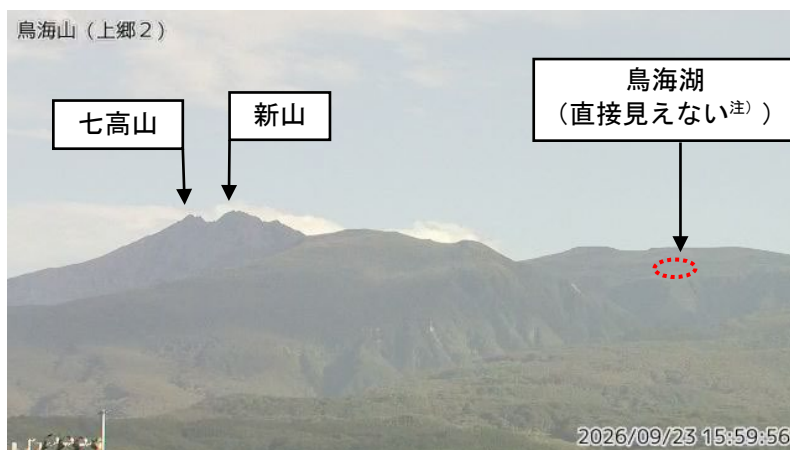


図1 鳥海山 山頂周辺の状況（9月23日）

- ・ 上郷2監視カメラ（山頂の北西約13km）の画像です。
- 注）鳥海湖から噴気が噴出した場合、高さ200m以上のときに上郷2監視カメラで観測されます。監視カメラからは直接見えませんが、赤破線が鳥海湖の位置を示します。

噴気は認められませんでした。

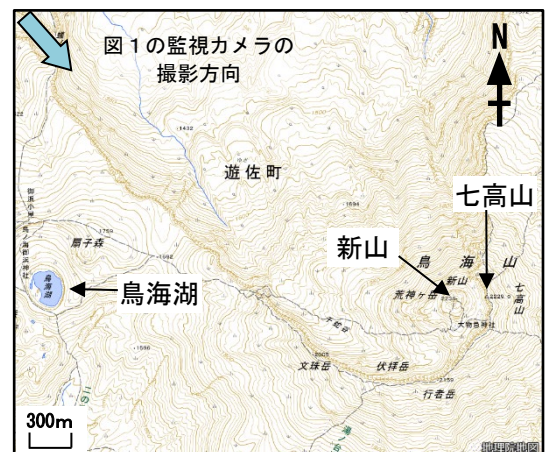


図2 鳥海山 新山、七高山、鳥海湖位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

次回の火山活動解説資料（令和8年10月分）は令和8年11月10日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

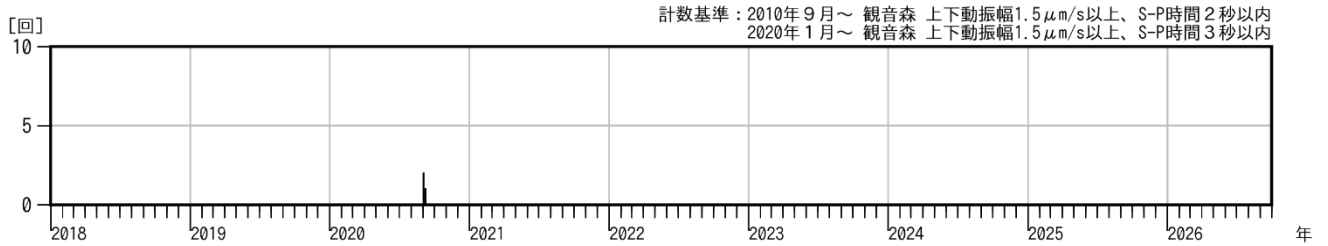


図3 鳥海山 火山性地震の日別回数（2018年1月～2026年9月）

地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されませんでした。

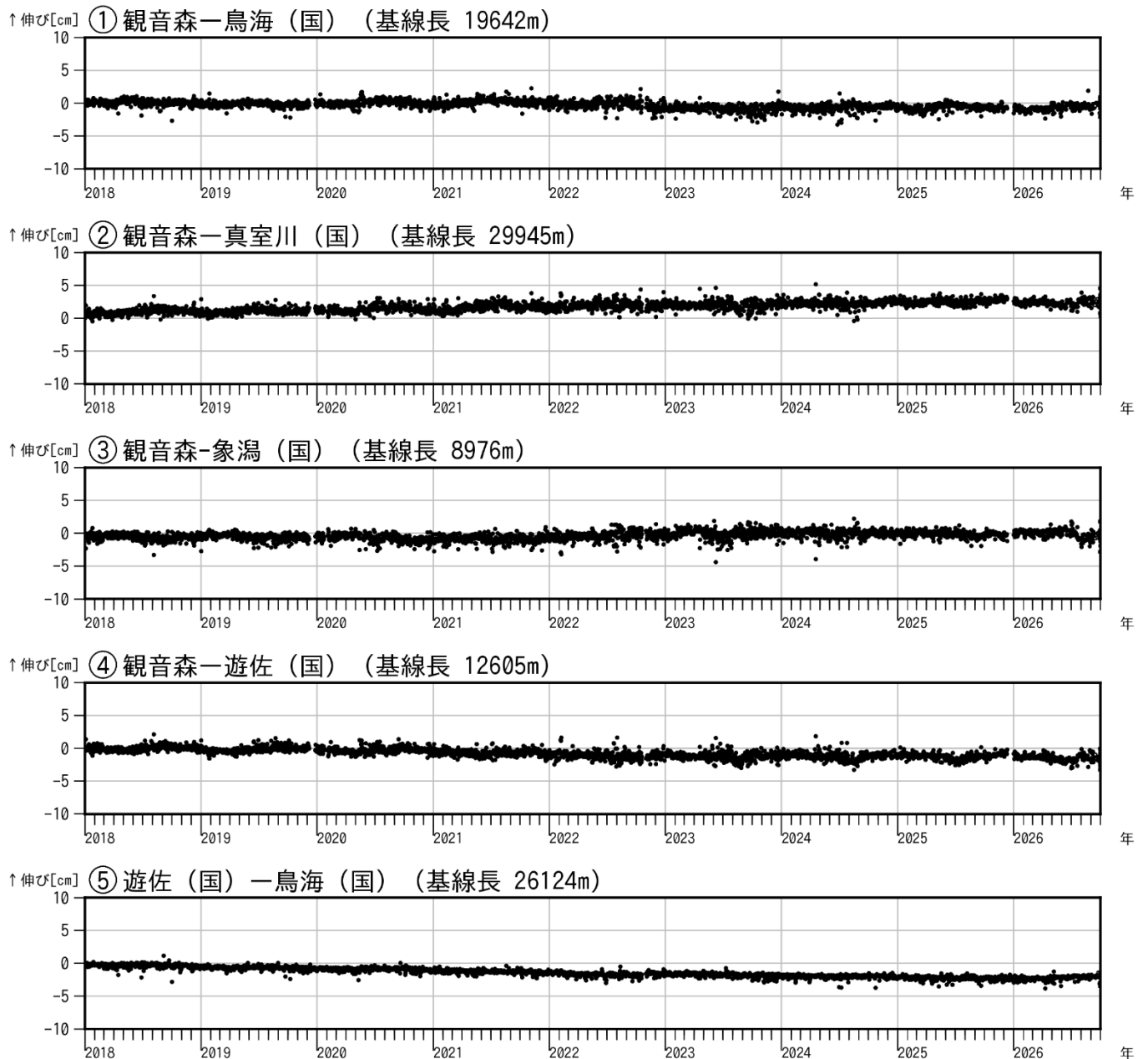


図4 鳥海山 GNSS 基線長変化図（2018年1月～2026年9月）

- ・①～⑤は図6のGNSS基線①～⑤に対応しています。・空白部分は欠測を表しています。
- ・（国）は国土地理院の観測点を示します。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

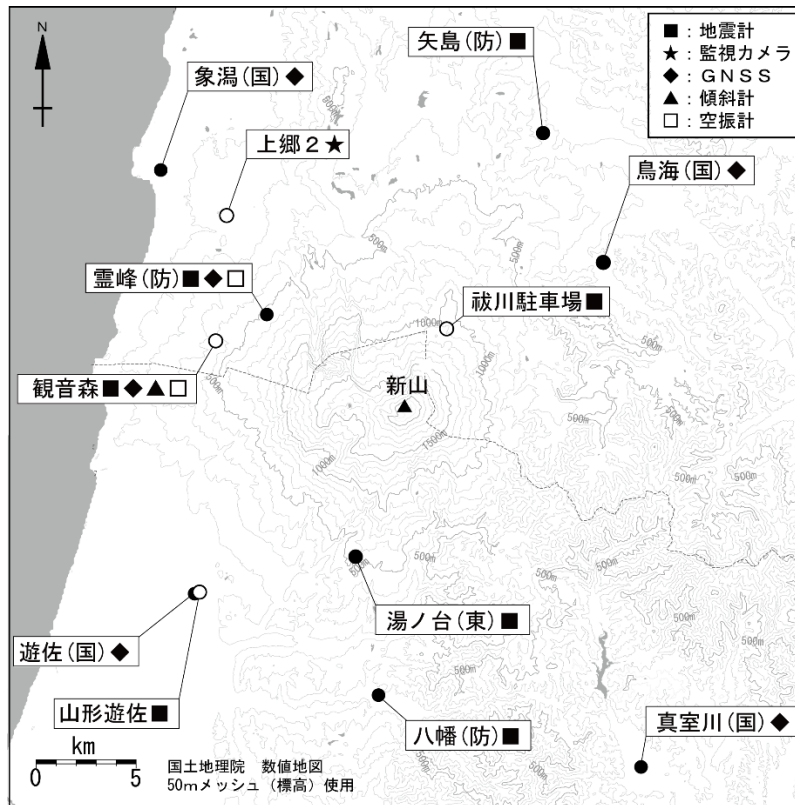


図5 鳥海山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

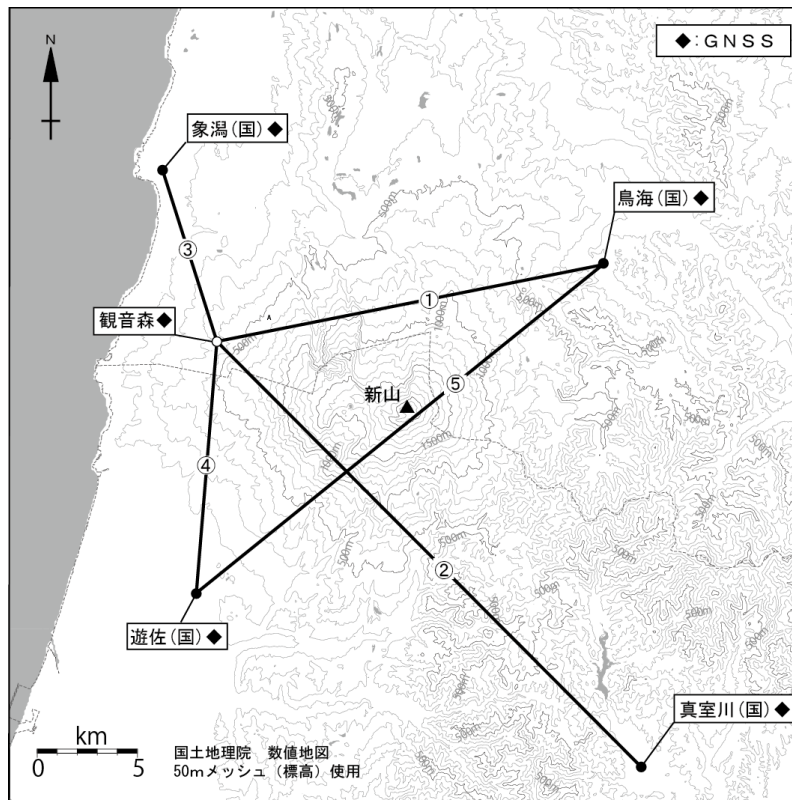


図6 鳥海山 GNSS 観測基線図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院